研究番号　10-07

情報活用能力の基礎を養う授業モデルの開発
―　小学校における教科指導を通して　―

研究の目的

児童の情報活用能力の育成に当たっては，各教科の学習活動の中に情報教育のねらいや活動を組み入れることによって，日常的に取り組むべきであることが『教育の情報化に関する手引』に示されている。本研究では，小学校の教科指導における，「情報活用の実践力の基礎」を育成する学習活動を六つのカテゴリーに整理し，各カテゴリー別に主要な授業場面を授業ユニットとしてまとめたブックレットを作成し，日々の授業に活用していただくヒントとして提案する。

情報活用の実践力の基礎6カテゴリー

授業で見られる情報活用の実践力の基礎を生かした活動のカテゴリー

情報活用の実践力の基礎を「集める力」「とらえる力」「まとめる力」「形にする力」「伝える力」「振り返る力」の6カテゴリーに整理した。

集める　とらえる　まとめる　形にする　伝える

振　り　返　る

※「振り返る」はその他のカテゴリーすべてに関連していることを示す。

情報活用の実践力を育成する学習活動

集める

資料を使って情報を集める【社会科】

とらえる

映像の中から必要な情報を見付ける【社会科】

まとめる

言葉を絞り込む【学級活動】

形にする

分かりやすい言葉で表現【国語科】

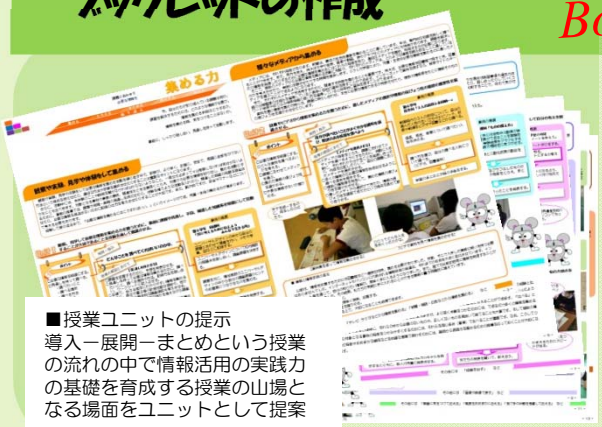
伝える

互いの考えを理由を挙げて伝え合う【理科】

振り返る

他の作品と見比べ自己評価・相互評価【図画工作】

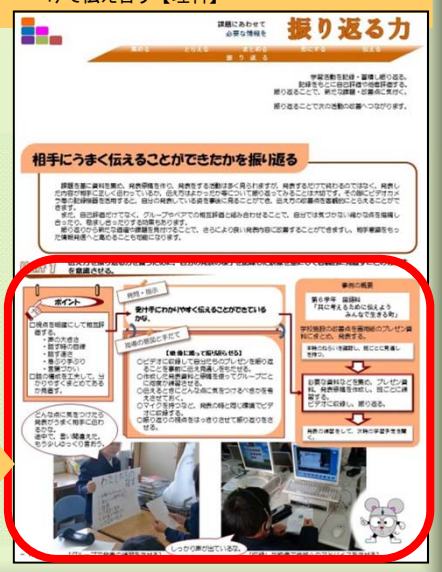
ブックレットの作成



■授業ユニットの提示
導入－展開－まとめという授業の流れの中で情報活用の実践力の基礎を育成する授業の山場となる場面をユニットとして提案

Booklet

■各ユニットの構成
- 情報活用の実践力のポイント
- 発問・指示
- 意図と手だて
- 事例の授業展開



http://www.edu-ctr.pref.okayama.jp/chousa/kiyou/h22/10-07.pdf